

# Language Matters

An official newsletter of New Asia--Yale-in-China Chinese Language Center  
The Chinese University of Hong Kong

Issue no.18 @ Spring 2007

## \* 要 Contents 目 \*

Message From the Editor 稿約.....	2
<b>Learning 學生園地</b>	
山岡良子 - 我在中大的生活.....	3
山下步 - 香港人 vs 日本人.....	4
丸山照代 - 我的春節假期.....	5
富家碧 - 在香港過年.....	5
羅 南 - 羅馬拼音好有用！.....	5
<b>Teaching 教師園地</b>	
謝春玲 - 漢字演變.....	6
陳 凡、張冠雄 - 普粵對比.....	6
韓彤宇 - 我知道你會‘愛’我的！.....	7
<b>Research 語言與文化研究</b>	
王 琪 - THE APPLICATION OF ‘MIND-MAP’ FOR TEACHING CHINESE AS A FOREIGN LANGUAGE.....	8
<b>Activities &amp; News 動態與信息</b>	
★ 優秀教師獎 ★ 人事動態.....	9
★ 第四屆中大演講比賽.....	10-11
★ 新春晚會.....	12
★ 日本宣傳推廣活動.....	13
★ 學術講座 ★ 語言學與華語教學專業工作坊.....	14-15
★ 最新消息 - 2007 暑期漢語學院.....	16

Online reading

<http://www.language-matters.net>



香港中文大學  
新雅中國語文研習所



# 迎春接福



# Year of the PIG

Language Matters is the official Newsletter of CLC, which serves as

- a student corner for Chinese learners to share their experience and concerns
- a platform for teachers at CLC and other similar institutions to share views
- a research corner to share notes on language and culture
- a bulletin board to publicize CLC activities and related news in our field

## Learning / 學生園地

For CLC students and alumni to share their learning experience.

## Teaching / 教師園地

For Chinese teachers to exchange views.

## Research / 語言與文化研究

For discussions on language and culture.

## Activities & News / 動態與信息

CLC activities and news in teaching CFL.

Editor/主編  
Dr. Weiping Wu

Associate Editor/副主編  
Ms. Chen Fan

Editorial Board/編委  
Mr. Chang Kwun Hung  
Ms. Hon Tung Yue  
Ms. Mak Suet Chi, Ellen  
Ms. Xie Chun Ling

Production/製作  
Ms. Doris Wong

## From the Editor

Language Matters(LM) is published regularly 3 times a year. Submissions for publication are welcome from all CLC teachers, students and alumni, as well as those who are involved with either teaching or learning Chinese (including Putonghua and Cantonese). Please send to:

Editor, Language Matters  
Chinese Language Center  
Fong Shu Chuen Building  
The Chinese University of Hong Kong, Shatin, N.T., Hong Kong

Notes for submission:

1. Language : Either in English or in Chinese.
2. Length : Between 300 to 500 words, no longer than 800 words in any case.
3. Focus : Should be related to either learning or teaching Chinese, including cultural aspects of language learning.

LM is distributed to about 500 to 800 programs and individuals in the field of teaching Chinese as a Second or Foreign Language, both local and international, in either electronic or printed form.

Address: New Asia--Yale-in-China Chinese Language Center,  
The Chinese University of Hong Kong,  
Fong Shu Chuen Building,  
Shatin, New Territories, Hong Kong, SAR

Tel.: (852) 2609 6727

Fax.: (852) 2603 5004

Email: [clc@cuhk.edu.hk](mailto:clc@cuhk.edu.hk)

Web site: <http://www.cuhk.edu.hk/clc>

What is expressed by individual contributors only represents the writer's perspective  
(本刊文章均為作者一得之見，不一定代表中心觀點)

# 我在中大的生活

## My study life on CU campus



### 學習普通話

我開始在 CLC 上普通話課時，我覺得挺難的。我的水平比班上其他同學差多了。爲了提高自己的普通話水平，我能做什麼呢？我剛來的時候完全不知道應該做什麼，但是，中文大學有很多從中國大陸來的學生，我經常找他們聊天兒，跟他們交朋友；有問題的時候，就問他們。他們的功課很忙，不過我對中文真的很有熱情，而且很認真地問，所以他們都願意幫助我。有時候我們一起吃飯，出去玩兒。這樣我從他們那兒學到了很自然，很有用的說法。

### 學習以外的活動

中大有很多學會和俱樂部。我住在新亞書院的宿舍，新亞書院有一個練習中國功夫的俱樂部，我參加了那個俱樂部的活動。我覺得雖然功夫很難學，練起來很辛苦，但是很有香港的特色。我完全沒有學功夫的經驗，但是他們耐心地教我。參加那些活動是瞭解中國的文化，交朋友，和練習語言的好機會。

### 旅遊經驗

很多同學都利用假期去旅行。我在寒假的時候參加了中文大學的投資學會安排的北京旅行。日程，飛機票，酒店，餐廳，參觀的地方等等都已經安排好了。除了參觀遊覽勝地以外，還有特別的安排，比如像跟北京大學和清華大學交流的機會，去工廠參觀什麼的。參加這個交流團的人，除了我以外，都是香港學生和從大陸來的學生，所以我在這次旅行中，差不多沒有機會說日語。而且，交了很多新的朋友。我覺得這次旅行真有意思，可以體驗很多好的事情。中文大學有各種各樣的學會，他們經常會在假期安排這樣的旅行。這種旅行交換生也可以參加。如果有機會，請務必參加。

#### 山岡良子 Yamaoka, Ryoko

(Putonghua Program Division 普通話組)

**Nationality :** Japanese

**Home institution:**  
Asia University

**Study period:**  
Jan 2004 to April 2005 (PTH4512)

私にとって授業の内容はとても難しいものでした。他のクラスメートともかなり差がありました。そこで私が語学の向上のために何をしていたかということを紹介したいと思います。実際最初はどうしていいかわからなかったのですが、大陸からきている留学生の子と友達になって、質問のある時はちょくちょく聞いたり、話をしたりしていました。彼ら自身も宿題などで忙しいのですが、こちらが中国語にとっても興味を持ち、真剣に質問をすると、親切に教えてくれました。時々一緒にごはんを食べたり、出かけたりもしました。このような時間もとても大切であると思います。彼らには、自然でとても役に立つ言い方を教えてもらいました。

中文大學には沢山の学会やクラブがあります。私は新亜書院に住んでいますが、新亜書院にはカンフーのクラブがあります。私は1学期にこのカンフークラブに参加しました。カンフーはとても難しく、かなり大変でしたが、香港の文化を感じられるとてもいい経験ができました。私は全くの初心者でしたが、みなさんとても親切に教えてくれました。このような活動に参加することは、中国文化を知ったり、友達ができたり、言葉の練習になったりなどとても良い機会であると思います。

冬休みを利用して、私は中文大學の投資学会が計画した北京旅行に参加しました。日程や飛行機のチケット、ホテル、食事、見学場所など全てすでに整っていて、また、観光名所の見学以外にも、北京大學、清華大學との交流、工場見学などの特別な企画がありました。さらに、旅行に参加した学生の中で、私以外は全て香港人と1人の大陸からきた学生だったので、旅行中はほとんど日本語を話すことはなく、新しい友達も沢山できました。とても楽しい旅行で、とてもよい経験ができたと思います。休みの期間にはいろいろな学会がこのような旅行を計画するようです。中文大學の学生だけでなく、交換留学生も参加できます。もし機会があれば、ぜひ参加してみたいかかでしょうか。



山岡良子 Yamaoka, Ryoko (right 2, back row)



## 香港人 VS 日本人 Hongkonger vs Japanese

我叫山下步，係日本名古屋嚟嘅。我係香港嘅生活已經過咗半年啦。每日發現香港人同日本人嘅唔同，好有意思。我想介紹其中兩樣嘢俾你哋知，第一係放假嗰陣時做乜嘢，第二係介紹吓香港人同日本人嘅打扮有咩唔同。

我哋日本人夏天放假嘅時候鍾意去日本嘅祭典或者去睇煙花。嗰祭典嘅夜晚，我屋企附近嘅公園裏邊有好多賣小食同飲嘢嘅舖頭仔。有好多嘢賣：甜品啦、雪糕啦、炒麵啦、炒飯啦、凍檸茶啦、熱咖啡啦……酸嘅、辣嘅、鹹嘅，乜味道都有。如果想去睇煙花，啲後生女鍾意着好靚嘅和服。其實夏天嗰陣時着和服又熱又癢，所以或者覺得有啲怪，因為一嚟着得唔舒服，二嚟覺得好窄，三嚟要着上去唔簡單，着嘅時候要照好多鏡，着得闊唔好睇。如果你有機會夏天去日本睇吓啦，你一定見到好多女仔着好多唔同顏色唔同款式嘅和服。有紅色嘅、黃色嘅、藍色嘅、綠色嘅、紫色嘅、粉紅色嘅、淺色嘅、深色嘅，乜顏色都有。外面梗係冇冷氣，好熱，好多人，仲好迫添，但係好好玩，你哋去日本試吓啦。

香港人夏天天氣好好嗰陣時鍾意去沙灘鬆吓。除咗游水、踢波、曬太陽、唱歌，一面傾計一面燒嘢食都得。日本人都鍾意去沙灘，但係我住嘅城市名古屋附近嘅沙灘唔係好靚。去好靚嘅沙灘要好多時間，所以我哋好少去沙灘。我嘅香港啲朋友，去沙灘每次都準備得好好。為咗沖涼帶毛巾同靚液；為咗洗頭帶洗頭水；為咗影相相機都唔會唔記得。以前我唔鍾意游水，但係到咗香港之後，我多咗去沙灘玩。而家我好鍾意去沙灘，希望夏天快啲嚟到。

我都想介紹吓香港人同日本人嘅打扮有咩唔同。第一，香港嘅好多後生仔同後生女戴眼鏡。係香港戴眼鏡嘅人多過係日本戴眼鏡嘅人，但係係日本戴隱形眼鏡嘅人好多，因為日本人覺得戴隱形眼鏡好睇啲。不過我自己覺得戴眼鏡都好有型，所以我唔戴隱形眼鏡，其實噉樣對我同對眼又好啲又襯自己。

第二，我覺得香港嘅後生女鍾意短頭髮，前面鍾意留陰。我都想剪短啲頭髮，或者下次我都剪短佢。有啲日本男仔鍾意留鬚，但係係香港，我有見過留鬚嘅男仔。日本多數後生仔嘅頭髮顏色係啡色嘅，但係香港人好似鍾意黑色嘅多啲。舊年嘅冬天我知道多啲香港人同日本人有咩唔同嘅地方。譬如話，冬天我成日覺得好凍，不過我宿舍啲香港朋友仲係着涼鞋。有個讀人類學嘅同學，有時着 T 恤，但係佢話仲係覺得熱熱啲。香港人同日本人好似一樣但係其實唔同。

私は名古屋出身の山下 歩と申します。香港生活もすでに半年が経ちました。毎日香港人と日本人の違いを発見することができてとても面白いです。様々な発見の中から2つを皆さんに紹介したいと思います。一つ目は休みの過ごし方、二つ目はファッションの違いです。

私達日本人は夏休みのときお祭りや花火を見に行くことが好きです。お祭りの夜、家の近くの公園ではたくさんのお食べ物や飲み物を売っている屋台がでます。屋台ではたくさんのおものが売られています。デザート、アイスクリーム、焼きそば、チャーハン、アイスレモンティー、ホットコーヒーなど、酸っぱい物、辛い物、しょっぱい物、どんな味のものもあります。花火を見に行きたい時、若い女の子たちはきれいな着物（浴衣）を着るのが好きです。実は浴衣を着るのは暑くて疲れることなのです。もしかすると着物を着るということはちょっと変わっているのかもかもしれません。なぜなら、第1に着心地はよくない、第2にとてもきつく感じる、第3に着付けは簡単ではないので何度も鏡を見てきれいに着られているかチェックしなければいけないからです。もしいつか夏日本へ行かれることがあれば、いろいろな色、様々なスタイルの浴衣を着た若い女の子たちを必ず見かけることでしょう。赤、黄色、青、緑、紫、ピンク、淡い色から深みのある色まで、どんな色のものも見かけることでしょう。外にはもちろんクーラーはなく、とても暑く人も多く混んでいるのですが、それでもとても面白いのです。皆さんも日本へ行って試してみてください。

香港人は夏の天気の良い時にビーチに行きリラックスするのが好きです。泳ぐほかに、サッカーをしたり、日光浴をしたり、歌を歌ったり、おしゃべりしながらバーベキューをしたり。日本人もビーチへ行くことが好きですが、私の住んでいる名古屋市付近のビーチはきれいではありません。きれいなビーチへ行くには時間がかかるので、ビーチへ行くことは余りありません。私の香港の友人はビーチへ行く時毎回準備はばっちりです。バスタオル以外に石鹸、頭を洗うためのシャンプー、写真を撮るためのカメラ等、忘れることはありません。以前私は泳ぐことがあまり好きではありませんでしたが、香港に来てからビーチへ行って遊ぶことが多くなりました。今はビーチへ行くことがとても好きで、早く夏が来るといいなと思っています。

香港人と日本人のファッションにどんな違いがあるかも紹介したいと思います。一つ目は多くの香港の若い男女がメガネをかけていることです。香港でメガネをかけている人は日本人より多いですが、日本ではコンタクトを使っている人がメガネをかけている人よりも多いです。なぜなら日本人はコンタクトを使う方が見た目がいいと感じているからです。でも、私自身はメガネをかけることもかっこいいと思うので、コンタクトを使いません。実際のところ、この方が目にもいいし自分にもあっていると思っています。

次に、香港の若い女性は短めの髪で前髪を作ることが好きだと思います。私も少し短く切りたいと思っていますので、次回そのように切るかもしれません。日本人の若い男性の中にはひげを伸ばすのが好きな人もいますが、香港ではひげを伸ばしている男性を見たことがありません。日本の多くの若者の髪の色は茶色ですが、香港人は黒い色を好む人が多いようです。去年の冬に香港人と日本人の違いを更に知りました。例えば、冬の間私はいつもとても寒く感じたのですが、私の寮の友達はまだサンダルを履いていたことです。人類学を勉強しているクラスメートの一人は時々Tシャツを着ているにもかかわらず、まだ少し暑く感じると言っていました。香港人と日本人は似ていますが、実は違うのです。

### 山下步 Ayumi Yamashita

(Cantonese Program Division 廣東話組)

**Nationality :** Japan

**Home institution:**

The Chinese University of Hong Kong

**Class No.:** CAN 2223



## 我的春節假期 My Spring Vacation

我是丸山照代，我從日本來。我從今年一月開始在中文大學學中文。

我剛過完了春節的假期，這些天我練了瑜伽，去了吃飯，做了大掃除，還有看了煙花。

最近我剛剛開始練瑜伽，其實主要是爲了減肥而進行瑜伽修行。但是練瑜伽以後，我的食慾越來越旺盛！所以我只好改變了自己的想法。現在我是爲了健康而進行瑜伽修行。你別說，練瑜伽真有意思！

一般來說，新年以前大家都應該做大掃除。但是我沒時間，所以十八號我才打掃廚房。我家的通風扇特別髒。一個星期以前，已經髒得不能用了。我覺得「太髒了，所以用不了！」我家的通風扇本來是白色的，但是我看見的是黑色的。打掃以後，我還怕不能用，通風扇其實沒壞，我用了兩個小時的功夫，才把通風扇洗乾淨。我在日本的時候從來沒洗過通風扇。每次都是母親洗，現在我才了解到母親的辛苦。我回國以後，一定會幫助母親洗通風扇。

二月十九號，我跟朋友一起去吃飯並且看煙花。我們非常喜歡吃韓國菜，所以這次我們吃了韓國菜。

晚上八點以前，我們離開了餐廳，但是我們不知道從那兒可以看到煙花，我們看見很多人都在街上。所以我們也跟着他們一起走。沒想到就在我們站着的地方，就能看到煙花！這是我第一次在香港看煙花。我非常感動，香港的煙花有動人的力量！

假期雖然結束了，但是這個假期對我來說真有意義！我真希望下次春節的時候還能在香港過！

### 丸山照代 Maruyama, Teruyo

(Putonghua Program Division 普通話組)

**Nationality :** Japan

**Home institution:**

Nijima Gakuen Junior College

**Class No.:** PTH 3215B



## 羅馬拼音好有用！Romanization is Very Useful!

我而家喺中文大學嘅 CLC 讀廣東話。我住喺香港好多年，但係我學咗中文五個月啫。我覺得用羅馬拼音要時時練習，不過真係好有用，因為佢幫我記得啲中文字嘅發音。廣東話嘅六個發音對我嚟講真係有少少混亂，特別係如果你係外國人。所以我話聽人講多啲同自己講多啲係好緊要嘅。我希望我嘅廣東話可以越嚟越進步，好快可以講得流利。我真係珍惜我喺 CLC 學廣東話嘅機會。如果你鍾意挑戰自己，我諗你應該試吓勤力啲嘅學。

Right now, I am learning Cantonese at the CLC in Chinese University. I have been living in Hong Kong for many years, however, I have only been learning Chinese for 5 months. I think using Romanization needs a little practice, however, it is really useful because it helps me know how to say words, making the pronunciation easier. The 6 tones are a little confusing, especially if you are a foreigner. I've heard people say that listening and speaking more Cantonese is very important. I hope that my Cantonese will improve more and more and soon, I will be able to speak fluently. I really treasure my opportunity to learn Cantonese at CLC. If you like challenges, I think you should also try to learn harder.

## 在香港過年

### Celebrating Lunar New Year in Hong Kong

新年的時候在香港有很多年宵市場。那裏什麼東西都賣，特別是植物、吃的東西，還有裝飾品。一般來說，年花是最重要的。在市場裏你可以買到水仙花和牡丹花，它們給你帶來興盛。你也可以買到桃花，希望新年可以有桃花運。或者買柑桔樹，保證你有成功的婚姻和長期穩定的關係。我真的不知道在這些年宵市場有那麼多花，還有那麼多人。在市場裏我覺得香港的市民都到市場來了。這個體驗讓我覺得很有意思。

除夕的時候我還去了尖沙咀看煙花，但可惜的是我到達得太晚了，所以我去不了海邊。整個地區都封路了。我只好站在半島酒店的旁邊，不過好在還看到了一點兒。香港政府花了四百萬來辦這個煙花匯演，一共放了兩萬三千八百八十八個煙花。這次煙花非常好看，就是天氣不太好。看煙花以後我想回家，我就自己一個人坐地鐵回家。我從來沒見過那麼多人在地鐵裏邊兒。

最後，我希望豬年真的是一個既吉祥又興旺的一年。

### 富家碧 Fritsche, Gabriela

(Putonghua Program Division 普通話組)

**Nationality :** Switzerland

**Class No.:** PTH 3215B



### 羅南 Namrata, Arora

(Cantonese Program Division 廣東話組)

**Nationality :** India

**Home institution:**

The Chinese University of Hong Kong

**Class No.:** CAN 2213



### 漢字演變

釋 “法” fǎ

【字形】 𠃉 𠃊 法

【析形】“法”字本寫作‘灋’。在古代周朝銅器銘文上就有這個字了。金文左旁上部是“去”字，取除去、去惡之意；左下部是“水”字，以水準表示準則和法度；右旁是“廌（音zhì）”，像傳說中一種形似牛，頭上有一隻角，能辨別曲直，幫助判斷疑難案件的神獸。傳說古代決案時，法庭令這種神獸用獨角去觸有罪的人，以此識別罪犯。上述“去”、“水”、“廌”都是表意的意符，表示執法除惡之意。因此“法”是個會意字。小篆‘去’字寫在下部，‘水’字在左上部；隸書則省去了“廌”。如今“法”字就是沿襲隸書而來的。

【釋義】本義指刑法，法則、法律、法令等，如：法辦、法典、法官、法規、法權、法人、法學、法院、法治、犯法、法制、國法、立法、憲法、司法、刑法、執法、非法、約法三章、奉公守法、貪贓枉法 由本義引申指①標準，可供仿效的。如：法式、法度、法貼 tiè ②佛教的道理。如：法力、法門、法師、法名、法衣、佛法、現身說法 ③方式，方法。如：法術、辦法、筆法、技法、加法、講法、教法、曆法、章法、語法

謝春玲老師 Ms. Xie Chun Ling  
University Program Instructor  
(大學組)

## "Leg" and "Foot", a Comparison between Putonghua and Cantonese

陳凡老師 Ms. Chen Fan  
University Program Instructor  
(大學組)

張冠雄老師 Mr. Chang Kwun Hung  
Cantonese Program Instructor  
(廣東話組)



香港學生告訴老師說中文大學的逸夫書院有一個“女人腳”。所謂“女人腳”其實指的是這幅圖中的雕塑。在說普通話的人看來，它怎麼看也不能說像是一雙“腳”，而只能說像兩條“腿”。為什麼說粵語的學生會把“腿”說成是“腳”呢？這還要從普粵詞彙的差異說起。

普通話中的“腿”，是小腿和大腿的總稱。“腳”是指“足”。因此有“腿長穿褲子好看”、“腳大難買鞋”的說法。粵語中的“腳”除了指“足”以外，還包括了小腿，因此有“腳長”的說法。“甲組腳”也就是說小腿特別粗、像甲組足球運動員一樣的腿。廣東話的這個意思是“腳”的本義，《說文解字》：“腳，脛也。”指“小腿”。《韓非子·難言》也說“孫子臏腳于魏”。粵語中的“髀”、“大髀”（或作“𦍋”、“大𦍋”）指的是膝蓋以上的大腿。當年劉備久不騎馬，髀肉復生，就是大腿的肉長出來了。“髀”在普通話的口語已經不用了。在香港的茶餐廳，客人可以點“雞髀飯”，用普通話說出來就得說“雞腿飯”。當然粵語也用“腿”字，例如“火腿”、“飛毛腿”等。至於“腳”字，粵語中也可用於描述其他物件，例如三條腿的椅子叫做“三腳櫈”。

普通話和粵語中有關腿腳的名詞和動詞都有不少是有差異的。這是學習粵語和普通話的人都要注意的。下次我們可以接著說說這方面的情況。

### 普粵對比說腿、腳

# 我知道你會‘愛’我的！ I know you are going to ‘love’ me!

時間過得真快，連我自己也沒有想到在教育行業已經工作了十一個年頭了。

現在教普通話仍然是我的興趣，我教過香港人，也教過很多外國人，還教過大學生、中小學老師、香港的公務員等等。在我這既不長又不短的教學生涯中，學生因為發音的失誤而引起的笑話不勝枚舉。今天就先給大家講幾個吧！

那是十年前，我剛開始在香港中文大學新雅中國語文研習所教普通話的時候，學校為了檢查這些外國留學生的學習效果，規定每課都有聽寫。一天，我的聽寫的句子為“比爾的肚子裏有很多笑話兒。”學生交回來的聽寫紙上却寫著“比爾的肚子裏有很多小花兒。”看了以後，我不禁笑出聲來。沒想到吧？只是兩個聲調的錯誤意思竟然可以相差十萬八千里。

看到這兒，可能有人會想，教外國學生當然不容易了，中文跟那些外文是完全不同的語言，當然錯誤也就更是五花八門了。不過，以我的個人經驗而言，有很多香港學生的笑話更精彩，簡直不讓外國學生專美。一次，課文裏有一位老伯伯叫“徐伯伯”，可是有學生却把這個生詞念成“捶寶寶”，課上大家一聽，立刻樂翻了天。這個例子還不是最經典的，最經典的是：一九九七年香港回歸之際，很多政府部門的公務員都要進修普通話，當然其中也包括香港警察。我就有幸在黃竹坑的警察訓練學校教過受訓的學警普通話。因為他們每天的訓練內容很多，所以只好把普通話課安排在星期六的下午。大家可以想像得到，那些學警經過了一個星期的體能和智能的艱苦訓練，然後上完普通話課，才可以回家歡度周末。這三個小時對他們來說是多麼的難熬啊！我總是儘量遷就他們，多利用活動進行教學，如果他們累得都趴在桌子上睡著了，當然就學不到東西了。總之，教這樣的課是很不容易的，特別是那個時候我只有一年的教學經驗。

一個炎熱的星期六下午，我又去上課了。看得出來，那些學生實在是疲憊不堪，我甚至覺得他們坐在那兒都可以睡著。叫學生回答問題時，我就找那些看似清



韓彤宇老師(前右)和警察訓練學校的學員合照。

醒的學生。突然，我發現了一個，我先跟他有了目光的接觸，然後我急忙拿起點名冊，尋找他的名字，準備叫他回答。當時班上的學生比較多，我還沒有記住每個人的名字。還沒等我叫他，他竟大聲地說：“老師，我知道你會‘愛’我的！”本來鴉雀無聲的教室被他這句話掀開了鍋！很多昏昏欲睡的同學被他這一嚷驚醒了！他們七嘴八舌地說：“你想得美！老師才不會喜歡你吶！做夢啦！”我也沒想到他竟然錯得那麼巧！其實他想說：“老師，我知道你會叫我回答問題的！”我立刻借著這個機會，把兩個句子的漢字與拼音都寫出來，希望他們下次不要再說錯。有的學生怕我覺得尷尬，就提議：“老師，咱們換個話題吧！”其實我一點兒也沒覺得不好意思，我倒是覺得這麼生動的現實生活中的例子是無論如何也不能錯過的。

那堂課的後半部學生們上得很好，因為他們不想錯過更精彩的笑話。而這個故事就成了我認為最經典的笑話了。

韓彤宇老師 Ms. Hon Tung Yue  
Putonghua Program Instructor  
(普通話組)



Presented at New Zealand Association of Language Teachers International Conference 2006, July 2-5, 2006

## INTRODUCTION

How are we to help our students to speak or present their speech fluently in Mandarin (Standard Modern Chinese) without using a draft? In recent, I have found that the Mind-Map is an effective technique to help foreign students to express themselves in Chinese. Mind-Map has been popularised by Tony Buzan, the father of Mind-Map, and his theory has been widely applied in European countries and American. Many researchers have agreed that Mind-Map can help students to have better comprehension in reading, writing and summarising the content or ideas for active learning and creative thinking (Peterson & Snyder, 1998; Mento, Martineli & Jones, 1999; Wycoff, 1991; Kellogg, 1990; Hyerle, D., 1996; Sharples, 1999; Bartlett, 2000). Some have focused on particular aspects, such as: Writing training (Wycoff, 1991; Xijin Xie, 1995; Bartlett, 2000; KaWa Ho, 2000a, 2000b, 2001a, 2001b; Leong laocheng, 2000); Analysis of the structure of literary works (Education and Manpower Bureau, S.A.R., Hong Kong, 2003); Adult education (Mento, Martineli & Jones, 1999); Memory (Steyn, Boer & Ann, 1998); Teaching Mandarin as a foreign language (Qi Wang, 2004, 2005). The works of these researchers have shown that Mind-Map is a way of thinking three dimensionally and presenting information that shows the overall structure of the topic, assisting in recall and understanding.

## APPLICATION

For the past few years I have applied the theory of Mind-Map and used it to teach foreigners of different nationalities and levels, especially the Elementary Mandarin Courses and Advanced Mandarin Courses, such as *Speaking and Writing* (Qi Wang, 2004) and *News Media* (Qi Wang, 2005). As a visual learning and thinking tool, I think Mind-Map is easy to draw on for both teachers and students.

- For the students at elementary level, I need to (1) summarise the key knowledge of one lesson (new words, language points, text) by a mind-map; (2) construct visual and meaningful relationships; (3) build images, colours, lines, arrows, branches to indicate connections. I usually draw the Mind-Map and show it to them at the beginning. After getting used to the method, students can draw a Mind-Map themselves.

- For the advanced level, first I introduce the rules of Mind-Map. Then I try to draw a mindmap to summarise the news text or the essay students want to present. By comparing the headline in list format with the Mind-Map one, the students found that they could identify and understand the structure of a subject and the way that pieces of information fit together faster than before. I have also shown them how to use colours, lines, and arrows to connect the central image (topic) with the key words and ideas.

After about three years of applying Mind-Map in teaching Mandarin, I found that adopting Mind-Map to teach Mandarin as a foreign language shows more advantages than the common model.



### For the elementary level

As a teacher, I think it is easier for me to teach by using Mind-Map. It is most effective when the teacher introduces the new lesson by using a Mind-Map. Students can understand, rework and remember new information. And class participation tends to increase as they write down the topics and think up new and related branches or ideas. They can build a Mind-Map in their brain and, as a result, they will get a deeper impression through the process. Teaching by Mind-Map, the students can concentrate in the classroom instead of taking a lot of time to take notes.

About 100 students' feedback showed the same viewpoint as mine. More than half the students think that Mind-Map is a good method for students to learn as well as for teachers to teach. The method can help them in different sessions (such as introduction, revision and situations etc.), making it easier for students to understand the main points and think about and organize the topic. The method also helps them to remember the main part of the lesson and review what they have learned that day after going home.

### For the advanced level

I have applied Mind-Map in two main courses which are *Speaking and Writing* and *News Media*. In *News Media*, I have encouraged the students to use a Mind-Map to summarize the headline of a news text, instead of reading the texts one by one and writing down a list headline, which usually can take them up to 2-3 hours to finish reading a news text of three A4 pages. After practice using Mind-Maps, the students can summarise the same amount of text within 30 minutes by themselves (Qi Wang, 2005). In the *Speaking and Writing* course, students usually prefer to present by reading the essay, but there is no interaction with the listener in that way (eye-contact, response, body language etc.). After using a mind-map to present, all the students (nine in each class) thought that Mind-Map can help the speaker to associate ideas and assist them to construct a structured essay plan and improve their speaking skills. As listeners, a Mind-Map can help them to understand more easily. This can lead to more interaction between the speaker and the listener, and make the atmosphere of the classroom warmer (Qi Wang, 2004).

## CONCLUSION

The application of mind-mapping to the teaching of Mandarin is a new experiment. Further adjustment needs to be made to improve the application of mind-maps in teaching. I conclude, however, that Mind-Map is an effective tool for both teacher and students, and I hope to see more related research in this area in the future.



## 優秀教師獎 CLC Exemplary Teaching Award 2005-2006

繼朱小密老師獲得上年度本所的優秀教師獎後，本年度由廣東話組張冠雄老師榮獲此獎。頒獎儀式於一月五日在方潤華堂舉行，並榮幸邀請到副校長鄭振耀教授作頒獎嘉賓。張老師在研習所多年，不管是以兼職老師或全職老師的身份，都積極主動地做好份內的工作。除高質量的教學外，張老師還積極培養良好的師生關係，維持同事間合作精神。同時也積極參加所裡面其他方面的工作和活動。在教材發展、本所學術興趣小組討論會活動，及老師培訓工作坊等方面都有不少貢獻。



左起：吳偉平博士、張冠雄老師及鄭振耀教授攝於頒獎禮上。

## 人事動態 New Teachers

大家好！我是李燕萍，從小就愛吃冰淇淋，所以每個人都叫我‘Cream’。1994年在香港理工大學取得中國語言學碩士學位後，曾在香港中文大學、香港大學、香港科技大學從事廣東話教學及研究工作。很高興可以回到研習所教廣東話。希望各位同學好好享受香港的留學生活。



李燕萍老師 (大學組)  
Ms. Lee Yin Ping, Cream  
(University Program Division)

大家好！我是汪蓉，畢業於武漢教育學院，並於去年完成了澳洲西澳大學的教育學碩士課程。教授普通話是我來到香港後的第一份全職工作，並一直從事到現在。我很喜歡語言教學，個人認為這是一項既有意義又有意思的工作。因為我覺得在教授漢語的同時，也在傳播中國源遠流長的文化，從而使外國人能更加清楚和深入地瞭解中國人的習慣和思維方式；有趣的是我也有機會從學生那兒接觸並認識到異地的文化風俗。身為初來中大的一個新丁，在很多方面還有待學習和提高，誠心希望得到各位同事的指導和幫助，以能在促進漢語教學發展方面盡一絲綿力。



汪蓉老師 (普通話組)  
Ms. Wang Rong  
(Putonghua Program Division)

我在北京出生，曾就讀於中國人民大學中文系，現任新雅中國語文研習所大學組普通話老師，在香港十幾年的經歷使我瞭解香港中西合璧的文化底蘊。多年積累的教學經驗，相信一定會幫助學生們掌握普通話。在全球興起學習普通話熱潮之時，我願與大家一同研習中文，弘揚中國五千年文化，增進日益廣泛的經濟交流，讓一口標準的普通話成為大家生活、工作的敲門磚。



宮蘭蘭老師 (大學組)  
Ms. Kung Lan Lan  
(University Program Division)



## 第四屆中大演講比賽 The 4<sup>th</sup> CU Speech Contest

以“2047 的香港”為題的第四屆中大演講比賽已於 2 月 9 日舉行。繼上屆美國交換生黃飛鴻奪冠後，本屆比賽再傳捷報。粵語組及普通話組均有本所學生進入決賽並獲獎。今年來自美國的交換留學生余穎琦獲得粵語(非

母語)組的冠軍，來自內地的姜彩霞獲得該組的亞軍。中大本地生謝翠婷奪得了普通話(非母語)組的冠軍。可喜可賀！內地學生張天羽是此次比賽的司儀之一，她曾在本所學習粵語並在過往的中大演講比賽中獲多個獎項。以下為余穎琦同學的演講內容。



各位評判，各位來賓，大家好！

今日我想同你地傾吓 2047 年嘅香港。聽著，我唔係講緊我估嘅嘢。我的的確確知道 2047 嘅香港係會點嘅。你會問，你點知呀？好！我而家講俾你哋聽啦！

有一日我係沙田行緊街，諗緊點樣寫呢個演講嘅時候，咁啱，撞到一個人，佢話佢係睇未來嚟嘅嘢！我一聽就即刻覺得好嘢，呢個人實幫到我手！但係，我點知佢真係睇未來嚟嘅嘢呢？但可能係一個騙子。所以我問佢有咩證明呢。其實，佢話有好多，但佢只係俾我睇一份 2047 年嘅報紙。

呢份報紙叫做「蘋果南華明早報」。最大嘅頭條係用英文寫嘅，係話，「香港島已經失救啦」。

嘩！真係大件事！咁嚴重？！我想揭開第二頁睇詳細嘅新聞，點不知呢份報紙只有一頁咋！

未來嘅人話「睇吓，份報紙係用電墨排版架！」佢一噤，嗰份報紙就自動轉頁。2047 嘅科技又幾先進嘅。

睇完篇文章，真係覺得好恐怖。原來全球暖化，海面水位越嚟越高，結果港島卒之沉咗。好彩九龍同新界佢地仲救得返，不過就唔可以住好多人，因為土地上面好危險。危險？點解危險呢？

未來嘅人講，2043 年嗰陣第三次世界大戰終於發生咗。最後，台灣俾人用原子導彈炸咗，香港受到輻射影響，死咗好多人，都有好多人移咗民。窮人有錢，冇得走，所以香港政府係地吓下邊起咗啲屋俾佢地住。香港人嘅生活真係變咗！唔只咁，佢地唔食得海鮮，因為啲魚有輻射。啲人只可以食菜同生果，肉就有得食啦。

跟住，嗰份報紙仲話，啲大廈會俾政府拆晒添。



香港中文大學副校長鄭振耀教授(右)頒獎予余穎琦同學。

2047 年嘅香港高樓大廈唔住得，冇人保養同維修啲高樓大廈，搞到佢哋越嚟越破舊，所以拆係最好嘅辦法。政府都會拆埋九廣鐵路，但係會保留九龍嘅地鐵，因為係地下，人人都可以用呢個交通工具。

嘩……我真係唔知點講。香港，冇咗海鮮，冇咗高樓大廈，唔再人山人海，咁，仲邊算係香港嘅！真係難以想像。好悲慘！

就係嗰陣，忽然有兩個差人行過嚟話，呢個人係係精神病院走出嚟嘅！其實，佢唔係睇未來嚟嘅嘢，佢係竊線嘅！慘嘢！我又俾人呃咗嘢！

啲警察拉咗嗰個人返精神病院，但係嗰份報紙佢哋就有拾走。臨走嗰陣時未來人對我講，「阿生，信不信我由你，但係白紙黑字嘅報紙你都唔信咩？」

各位，你地話，我應該信邊個呢？？？差人定係未來人呢？而家，報紙又好，科學期刊又好，時時刻刻都係度提出警告，再唔保護環境，會有乜後果？我真係唔想知道。

但係，我可以講一件事俾你哋聽：為咗本人嘅安全，2047 前後我一定唔會係香港。多謝各位。



# Hong Kong in 2047

Judges, Guests, Hello!

Today I want to talk about Hong Kong in 2047. Listen closely, because I'm not telling you my guesses. I absolutely, without a doubt know how Hong Kong will be in 2047. You may ask, "How do you know?" Well, allow me to tell you!

One day, while I was walking around Shatin, thinking about how to write this speech, it just so happened that I bumped into a guy who said he was from the future! I immediately thought, "Wow! This guy can definitely help me!" But how do I know he's really from the future? He could be a liar... so I asked him for proof. Actually, he said he had a lot, but he only let me see a newspaper from 2047.

This paper was called the *Apple South China Ming Morning Daily* (a combination of several HK paper's names). The biggest headline was written in English, and said, "Hong Kong Island is Lost."

Whoa! That huge?? That serious?! I wanted to open the second page and see the detailed news, but who knew that the paper only had one page??

The guy from the future said, "Look, this paper uses electronic ink." He touched the paper, and it automatically changed pages. 2047's technology is quite advanced!

After finishing the article, I was really scared. Because of global warming, sea levels rose, and as expected, Hong Kong Island was finally submerged. Luckily, they were able to save Kowloon and the New Territories, but not a lot of people could live there, because it was dangerous above ground. Dangerous? Why dangerous?

The person from the future explained, the third world war was just finished in 2043. At the end, Taiwan was nuked, and Hong Kong received radiation. A lot of people died, and a lot a folks emigrated. The poor people didn't have money, so they couldn't go. So the government built some homes underground for them. Hong Konger's lives

have really changed! That's not all; they also can't eat seafood, because the fish are irradiated. They can only eat vegetables and fruit; meat is no longer an option.

The newspaper also said, the skyscrapers would all be torn down by the government. 2047's Hong Kong can't live in them, there's no one to maintain them, so they'll get more and more dilapidated, therefore tearing them down is best. The government will also tear up the KCR (commuter railroad), but Kowloon's subway they'll leave, being underground, the people can use this method of transport.

Waaaa... I really don't know what to say. Hong Kong, without seafood, without skyscrapers, without crowds, well, how can that even be called Hong Kong!? It's quite hard to imagine! Quite tragic!

Suddenly, two cops came over and told me, this guy escaped from a mental institution! He's not really from the future, he's crazy! Oh no! I've been tricked!

The police arrested him and were going to bring him back to the mental institute, but they didn't take the newspaper. Right before he left, the guy from the future said to me, "Sir, believe me or not, it's your choice. But it's there in black and white, can you even presume to refute that?"

Everyone, what do you say, who should I believe? The cops or the guy from the future? Now, newspapers, academic journals, they are all always giving out warnings, if we don't protect the environment now, what consequences will there be? I really don't want to believe them.

But, there's one thing I can tell you. For my own personal safety, when 2047 comes around, I definitely won't be in Hong Kong. Thank you all.

余穎琦 **Yu, Wing Kei**

**Nationality :** USA

**Home institution :**  
Rice University

**Study period in CLC Cantonese Division :**  
September 2006 up to now (CAN 4515)

# 新春晚會 Spring Party 2007

新春晚會已於三月二日完滿結束。當晚節目內容豐富，包括有與中國文化相關的活動，如寫揮春、猜字謎等，有綜合節目表演，如舞獅、舞蹈、唱歌、短劇及太極示範等等。師生們帶來各自烹調的拿手特色美食，讓大家大快朵頤。

春季晚會得以順利完成，全賴師生們積極參與以及所內同仁通力合作，特此謹致以萬二分謝意！



兩位司儀崔熙婉同學（左）、余穎琦同學（右）及吳偉平博士



猜字謎



寫揮春



舞獅

新  
春  
晚  
會  
花  
絮



太極表演



舞蹈表演



廣東話組同學大合唱



普通話組同學大合唱



短劇



## 日本宣傳推廣活動 Programs Promotion in Japan

研習所所長吳偉平博士、業務發展主任麥雪芝女士及發展統籌龍心怡女士於三月五日到訪日本，向各日本機構介紹本所。在東京期間，麥女士參加了 2007 ICEF 教育洽談會，與多間中介機構進行洽商。同時吳博士及龍女士則訪問了早稻田大學、慶應義塾大學等多間東京著名學府。兩日後，一行人再帶上千斤重的行李趕赴大阪，為三月八日在大阪新阪急酒店舉行的發布會做最後準備。當日共九間教育機構參加，包括關西大學、南山大學等。發表會上除向各來賓介紹了本所、本所課程外，吳博士更與與會者交流了不少漢語學習的心得，亦就「在香港學習漢話」一題上展開了討論，氣氛熱烈。

是次訪問事前得到多方人士幫忙準備，實在萬分感激。希望是次經驗能對本所將來有所裨益。



左起：吳博士、關西日本香港協會 戒田真幸事務局長、SHIMADA LTD. 嶋田一夫先生及香港貿易發展局大阪事務所長 杜樹培先生合照。



麥女士於 ICEF 教育洽談會會場。



與慶應義塾大學 文學部合照



大阪發布會



大阪發布會

## 學術講座 Academic Forum

Cultures of learning: Chinese versus Western

**Speaker:** Prof. Huhua OUYANG (PhD) 歐陽護華教授

**Abstract:** This talk focuses on how learners perceive what counts as ideal learning and ideal teachers. The speaker discussed the differences of Chinese culture of learning and that of the western from a contrastive perspective. Using Discourse System and Contrastive Community of Practices as a framework, the speaker outlined the differences in terms of educational ideology, nature of inquiry, socialization process, leadership style, teachers-students communication discourse, and interpersonal relationship or *face/guanxi*. Data from two empirical case studies were presented to illustrate how the culture-specific assumptions and expectations are at work from the learners' perspective and how teachers should address the needs of the western students learning Chinese language and culture.



Prof. Huhua OUYANG (left 3, front row), Dr. Weiping Wu (left 4, front row) and CLC's instructors.

## 語言學與華語教學專業工作坊

### Professional Workshop on Linguistics and Teaching CSL

2007年3月16日本所假座香港中文大學祖堯堂舉行了香港首次以「語言學與華語教學」為題的工作坊，並取得圓滿成功。

本次工作坊得到香港中文大學——蔣經國基金會亞太漢學中心贊助，由本所主辦，中國國家外國語言學及應用語言學研究中心協辦。特邀中、港、台、美的卓越學者與參加者分享他們在語言學上的研究成果，特別是把語言學的研究成果應用到語言教學活動上的心得。應邀發表演講的專家學者及講題是：

- 1) FENG Shengli, Harvard University, 馮勝利教授，哈佛大學，美國  
THE GRAMMATICAL FEATURES OF SOUND IN TEACHING CSL (CLAL)
- 2) GU Yang, Chinese University of Hong Kong 顧陽教授，香港中文大學，香港  
CHINESE TEMPORAL STRUCTURE AND ITS IMPLICATION IN CLT
- 3) LU Jianming, Beijing University 陸儉明教授，北京大學，中國  
詞彙教學與詞彙研究 (On the Teaching & Research of Vocabulary)
- 4) TENG Shouhsin, National Taiwan Normal University 鄧守信教授，國立台灣師範大學，台灣  
TYPES AND LEVELS OF MEANINGS: IMPLICATIONS FOR L2 CHINESE INSTRUCTION
- 5) WU Weiping, Chinese University of Hong Kong 吳偉平博士，香港中文大學，香港  
PRAGMATICS AS THE GUIDING PRINCIPLE IN KEY AREAS OF LANGUAGE LEARNING AND TEACHING
- 6) SHI Dingxu, The Hong Kong Polytechnic University 石定栩教授，香港理工大學，香港  
VARIATIONS OF WRITTEN CHINESE AND ITS IMPLICATIONS IN CSL







各講者於會上發表其研究成果以及應用到語言教學活動上的心得。



講者和部份參加者合照。

- 7) CHEUNG, Samuel, Chinese University of Hong Kong 張洪年教授，香港中文大學，香港 PEDAGOGICAL MANUALS OF THE 19TH CENTURY: INCORPORATION AND REFLECTION OF CHANGES IN LANGUAGE
- 8) KUBLER, Cornelius, Williams College 顧百里教授，維廉大學，美國 RATING CHINESE LANGUAGE SAMPLES: WHAT IS HARD AND WHAT IS EASY?
- 9) YAO, Ted, The University of Hawaii 姚道中教授，夏威夷大學，美國 ASSESSING CHINESE LANGUAGE PROFICIENCY IN THE UNITED STATES

工作坊透過演說、討論等不同形式，在語音學、語法學、語義學、語用學等不同層面探討語言學理論與語言教學之間的關係及有關問題。前來參加工作坊的大多是在香港從事語言教學的課程統籌和教師同行。會上討論熱烈，大家普遍反應受益良多。



# 最新消息 Updates

## 2007 Chinese Language Summer School Putonghua Cantonese English

**Targets:** Current university students, high schools students, working people from abroad or Hong Kong are welcomed. Credit transfer is possible for current university students\*.

### Schedules:

Program name	Date (2007)	Levels available**
Regular Summer term	May 14-August 3 (12 weeks)	All levels for CAN & PTH
S1	June 18-29 (2 weeks)	Intermediate to Advanced PTH
S2 & CUHK international Summer School	July 3-31 (4-5 weeks)	L1-4 for PTH L1-2 for CAN
Pragmatic Internship in China (PRINCH)	August 4-10 (1 week language immersion programme for Putonghua students)	PTH L2 or above
S3 (English courses are available with S3a)	S3a - August 6-24 (3 weeks, for non-native speakers only) S3b- August 13-24 (2 weeks, for native Chinese speakers only) Optional cultural tour to mainland China - Aug. 25-26	L1-2 for both CAN & PTH. Social English courses to be provided by CUHK English Language Teaching Unit

\* Please consult your corresponding college first

\*\* Subject to minimum class size.

**Chinese Language Summer School** (Daytime Courses): [www.cuhk.edu.hk/clc/summer.htm](http://www.cuhk.edu.hk/clc/summer.htm)  
(English, Japanese and Korean version available)

**Chinese Language Evening Courses** (for both native & non-native speakers, classes in Apr-June & July - Sep):  
[www.cuhk.edu.hk/e\\_ssp.htm](http://www.cuhk.edu.hk/e_ssp.htm)

**CUHK International Summer School** (Business, Humanities & Chinese Languages): [www.cuhk.edu.hk/osp](http://www.cuhk.edu.hk/osp)

## 2007 暑期漢語學院 普通話 廣東話 (粵語) 英語



**對象:** 在學大學生、高中生、海外或居港在職人士，在學大學生可申請學分互認\*

### 時間表:

課程	日期 (2007)	提供程度**
常規夏季學期	5月14日-8月3日 (12週)	廣東話及普通話所有程度
S1	6月18-29日 (2週)	中至高級普通話
S2 及中大國際暑期學院	7月3-31日 (4-5週)	普通話第一至四級 廣東話第一至二級
語言文化實習課(中國) (PRINCH)	8月4-10日 (普通話學生一週語言沉浸活動)	普通話第二級或以上
S3 (S3a 同時提供英語會話課程)	S3a - 8月6-24日 (3週非母語人士課程) S3b - 8月13-24日 (2週本地人學普通話課程) 8月25-26日 (自由參加2日1夜中國旅行)	普通話/廣東話第一至二級 社交英語由中大英語教學單位提供

\* 請先諮詢所屬院校。 \*\* 受每班最少人數限制

**暑期漢語學院** (日間課程): [www.cuhk.edu.hk/clc/summer.htm](http://www.cuhk.edu.hk/clc/summer.htm) (提供英語、日語及韓語網頁)

**中國語言夜間課程** (適合港人及非母語人士，四至六月及七至九月開課): [www.cuhk.edu.hk/e\\_ssp.htm](http://www.cuhk.edu.hk/e_ssp.htm)

**中大國際暑期學院** (提供工商管理、人文學科及中國語言科目): [www.cuhk.edu.hk/osp](http://www.cuhk.edu.hk/osp)

Enquiry 查詢: 2609 6727 Email: [clc@cuhk.edu.hk](mailto:clc@cuhk.edu.hk)

Chinese Language Center, CUHK 中大新雅中國語文研習所